

(一部新) 少人数教育推進事業

当初予算主要事業 教育委員会 5頁
人材政策室 (224-2958)
【予算額 合計1,231,393千円】

基本的な生活習慣や基礎・基本の学力の定着をめざし

平成15年度 小学校1年生における30人学級(下限25人)を実施

平成16年度 小学校1、2年生における30人学級(下限25人)を実施

確かな学力の定着と生きる力の育成をめざし

平成17年度 中学校1年生における35人学級(下限25人)を実施

《事業の成果》



○学習面の成果
・基礎・基本の学力定着を図ることができた。
・授業が落ち着き、児童生徒一人ひとりにいきとどいた指導ができた。
○生活面の成果
・児童生徒への声かけや気配りがよりきめ細かくできるようになった。
・児童生徒や保護者と話す機会が多くなり、児童生徒に対する理解が深まった。

○学習面の成果
・自ら学習する習慣がより身についた。
・細かいところまで丁寧に関わってもらえるようになった。
○生活面の成果
・新しい環境に早くとけ込めた。
・楽しく学校へ行っている。
・基本的な生活習慣が身についた。
・生活態度が落ち着いてきた。



平成18年度

少人数教育をより一層充実させるため

- 教員の配置拡充(定数10人)
- 小学校1、2年生での30人学級の継続
- 中学校での35人学級の弾力的実施

- ① 教員の配置拡充 (定数10人、非常勤185人、328,352千円)
小学校において、各学校の実情に応じ、少人数授業などの拡大を図るため、教員の配置を拡充し、きめ細かな少人数教育を一層推進します。
- ② 小学校1、2年生での30人学級の継続 (定数123人、521,151千円)
小学校1、2年生での30人を基準とした学級編制(ただし、下限25人)を継続して実施します。
- ③ 中学校での35人学級の弾力的実施 (定数60人、非常勤80人、381,890千円)
中学校1年生を対象としている35人を基準とした学級編制(ただし、下限25人)については、各学校の実情に応じて、2年生あるいは3年生にも振り替えて実施できるよう、弾力化を図ります。